

# 災害復旧と復興

## 自分の主張や意見をつくる時の評価基準

### S

防潮ていを築く計画は地域によってどのように検討されたのかについて整理することができていて、整理したことを関係付けて、災害にあった人々の願いはどのように実現されるかについての考えを書けている。

### A

防潮ていを築く計画は地域によってどのように検討されたのかについて整理することができていて、災害にあった人々の願いはどのように実現されるかについての考えを書けている。

### B

防潮ていを築く計画は地域によってどのように検討されたのかについて整理することができているが、災害にあった人々の願いはどのように実現されるかについての考えを書けていない。

### C

防潮ていを築く計画は地域によってどのように検討されたのかについて整理することができていない。

## 具体的な記述の例

### 「分類と気付き」

住民の安全のほかにもふるさとの景色やシンボルなど、地域によってそれぞれ守りたいものがあり、住民と行政がいっしょに話し合い、意見を尊重しながらつ波や大地しんに向けた取り組みをおこなっている。

### 「自分の考え」

災害からの復興について、いくつかの町の情報を整理したら、地域に住む人々の守りたいものや「どんな町にしていきたいか」という願いは地域によって様々なので、災害に向けて防潮ていを築くところや、住民の願いであえて別のことをするところもあることがわかった。

人々の安全だけでなく、住む人が自分の町をよい町だと思えるように、国・県・市や町・ひ災者・ひ災していない人々が、それぞれの立場で協力しながら実現していくとよいと思う。

### 「分類と気付き」

つ波や大地しんに向けて、それぞれの地域で住民と行政が安全を守るために話し合いなどを行っている。

### 「自分の考え」

災害にあった人々の願いを実現するためには、住民や行政が協力して、それぞれの願いを実現するための取り組みをするとよいと思う。

### 「分類と気付き」

地域によっていろいろな取り組みがある。

### 「自分の考え」

わからない（書けていない）

### 「分類と気付き」

分類できていない（書けていない）

### 「自分の考え」

わからない（書けていない）